

〈目的別歳出の状況(一般会計)〉

区 分	平成31年度	平成30年度
民 生 費	71億5,231万円 (33.2%)	71億3,128万円 (33.8%)
総 務 費	32億2,717万円 (15.0%)	25億6,211万円 (12.1%)
公 債 費	22億1,689万円 (10.3%)	23億5,990万円 (11.2%)
教 育 費	21億5,828万円 (10.0%)	25億 414万円 (11.9%)
農林水産業費	18億5,806万円 (8.6%)	18億6,675万円 (8.9%)
衛 生 費	17億3,065万円 (8.0%)	17億3,833万円 (8.2%)
土 木 費	13億9,599万円 (6.5%)	12億7,016万円 (6.0%)
消 防 費	9億8,218万円 (4.6%)	10億7,866万円 (5.1%)
商 工 費	2億2,981万円 (1.1%)	2億 242万円 (1.0%)
議 会 費	1億7,241万円 (0.8%)	1億7,493万円 (0.8%)
諸 支 出 金	4億 721万円 (1.9%)	2億1,528万円 (1.0%)
予 備 費	1,000万円 (0.0%)	1,000万円 (0.0%)
災 害 復 旧 費	504万円 (0.0%)	504万円 (0.0%)

歳出を目的別に見ると、最も大きな割合を占めるのが、市民の皆さんが安心して暮らすための福祉の充実などに使われる民生費です。前年度に対し0.6ポイントの減となりましたが、全体の33.2%を占めています。

次に多いのは総務費で前年度に対し2.9ポイントの増で全体の15%を占めていますが、光ブロードバンド整備事業などへの取り組みによるものです。

以下は公債費、教育費、農林水産業費、衛生費、土木費、消防費の順となっています。

会計別の当初予算額

区 分	平成31年度	平成30年度	比 較	
			増減額	増減率
一般会計	215億4,600万円	211億1,900万円	4億2,700万円	2.0%
特別会計	115億8,490万円	117億9,510万円	△2億1,020万円	△1.8%
国民健康保険事業特別会計	57億2,200万円	59億5,000万円	△2億2,800万円	△3.8%
後期高齢者医療特別会計	5億4,160万円	5億5,210万円	△1,050万円	△1.9%
介護保険事業特別会計	51億1,670万円	50億8,030万円	3,640万円	0.7%
農業集落排水事業特別会計	7,020万円	7,540万円	△520万円	△6.9%
公共下水道事業特別会計	1億3,440万円	1億3,730万円	△290万円	△2.1%
水道事業会計	11億3,244万9千円	11億9,308万2千円	△6,063万3千円	△5.1%
合 計	342億6,334万9千円	341億718万2千円	△1億5,616万7千円	△0.5%

平成31年度当初予算を市民1人あたりに換算すると…

市民1人当たりが負担する市税

総額 101,930円

※金額は、平成31年2月28日現在の住基人口(35,356人)で計算しています。(鉱産税、国有資産等所在市町村交付金は除く。)

市民1人あたりに使われるお金

総額 609,401円

※金額は、平成31年2月28日現在の住基人口(35,356人)で計算しています。



固定資産税
55,974円



市民税
36,099円



民生費
202,294円



総務費
91,276円



公債費
62,702円



教育費
61,044円



市たばこ税
5,658円



軽自動車税
4,199円



農林水産業費
52,553円



衛生費
48,949円



土木費
39,484円



消防費
27,780円



その他
23,319円

平成31年度当初予算の特徴

南九州市では、将来都市像である「人と自然が共生する 活気あふれる 住みよいまち 南九州市」を目標として掲げ、南九州市総合計画に基づきまちづくりを進めています。ここでは、平成31年度の当初予算の特徴について新規事業を中心に紹介します。



子育て支援・健康づくりの推進

1 子育て家庭の相談窓口を設置します。

〔420万円〕

子育て家庭や妊産婦が、必要な支援を円滑に利用できるように相談窓口を設けます。また、関係機関との連携・協働の体制づくりを行います。

2 風しんの予防・感染拡大対策に取り組みます。

〔863万円〕

抗体保有率の低い世代に対し、抗体検査や予防接種を行います。また、妊娠を希望する女性とその同居者に予防接種費用の一部を助成し、風しんの感染拡大を防ぎます。

市の魅力発信

1 首都圏で知覧茶などの情報発信を行います。

〔3793万円〕

知覧茶をはじめとする特産品の新たな販路拡大のヒントとして、昨年引き続き浅草の「まるごとっぽん」に出展し、市のPRおよび情報発信を行います。



2 市のブランドイメージの構築に取り組みます。

〔683万円〕

南九州市の魅力を効果的に発信するために、統一デザインのツールの制作や、市民を対象とした写真撮影・SNS講座などの開催をします。

暮らしやすいまちづくり

1 光ブロードバンド整備事業

〔2億3800万円〕

ブロードバンドサービス未提供エリアにおいて、通信事業者が整備する光ファイバー網費用の一部を市が負担し、市内における情報通信格差の解消を図ります。

2 集落支援員を増員します。

〔700万円〕

市内各地区の状況を把握し、地域力の維持・強化を図ることを目的とした集落支援員を2人設置し、地域自治組織の活性化を推進します。

教育施設・環境の充実

1 改訂に伴い教科書・指導書を購入します。

〔3214万円〕

小学校の教科用図書の改訂に伴い、教師用の教科書や指導書、各学校のデジタル教科書を購入します。

2 栗ヶ窪小学校の改修工事を行います。

〔1億7202万円〕

老朽化が進んでいる栗ヶ窪小学校の校舎などの大規模改修工事を行い、良好な学習環境を確保します。

3 キャリア教育「夢の懸け橋」事業

〔330万円〕

中学生を対象とした講演会を開催し、子どもたちのキャリア発達を支援します。